

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4938897号

(P4938897)

(45) 発行日 平成24年5月23日 (2012. 5. 23)

(24) 登録日 平成24年3月2日 (2012. 3. 2)

(51) Int. Cl.

B 4 2 D 11/00 (2006. 01)

F 1

B 4 2 D 11/00

K

請求項の数 4 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2011-23549 (P2011-23549)
(22) 出願日 平成23年2月7日 (2011. 2. 7)
(65) 公開番号 特開2011-121374 (P2011-121374A)
(43) 公開日 平成23年6月23日 (2011. 6. 23)
審査請求日 平成23年7月11日 (2011. 7. 11)

早期審査対象出願

(73) 特許権者 592213512
小屋野 信一
福岡県福岡市南区井尻5丁目-6-5 西
村ビル201号
(72) 発明者 小屋野 信一
福岡県福岡市南区井尻5-6-5 西村ビ
ル201号

審査官 宮本 昭彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 レジスター用レシート

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

宣伝広告兼用割引券の裏側に、切断面側から数ミリ巾の糊付部と糊付部の後の非糊付部にミシン目等の切断部を有し、切断面と糊付部の間および糊付部と切断部との間に若干の逃げとしての非糊付部をつくることを特徴とするレジスター用レシート。

【請求項2】

宣伝広告主によって制作されたオリジナルカレンダーにレシートを一日のスペースに貼り付けることができる仕様になっていることを特徴とする請求項1のレジスター用レシート。

【請求項3】

売日、商品名、価格、割引率等を標記し、そのデータをレジスターのリーダで読み取ることのできる情報コードを有することを特徴とする請求項1のレジスター用レシート。

【請求項4】

将来の広告からさらにディスカウントすることを予告することを特徴とする請求項1のレジスター用レシート。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、レジスター用レシートに関する。

10

20

【背景技術】**【0002】**

従来のレジスター用レシート（以下、レシート）は、領収書、宣伝広告兼用割引券（以下、割引券）の役割を果たしている。家計簿に領収書を貼り付けて保管しようとする場合、糊で貼り付けなければならない。一方、宣伝広告の役割を持ちながらも、売出日を確実に記憶させておく手段に乏しいため、売出日が過ぎ去ってしまい、割引券として使えないということが多かった。

【0003】

この改善策として、レシートの裏面に糊付部をつくり、水糊式または圧着式で家計簿に貼り付ける。領収書のデータをリーダーで読み取り、パソコン内の家計簿に落とし込むシステムを用意する。割引券は、レシートの裏面の天部分に糊付部をつくり、カレンダーに貼り付ける。割引券のデータをリーダーで読み取り、パソコン内のカレンダーに落とし込むシステムを用意する。

10

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

この発明は、家計簿をつけるに際して、レシートをアナログ、デジタルの両環境に対応できるものであり、レシートと同時に受け取ることがある割引券に対してもアナログ、デジタルの両環境においても、消費者のメリットを最大限に享受できるように対応できるようにしたものである。

20

【課題を解決するための手段】**【0005】**

上記課題を解決するためには、アナログ、デジタル両環境に区分する。

【0006】

アナログ環境下においては、レシートに工夫をつくる。領収書としてのレシートは、家計簿に貼り付けることを考慮して、レシートの巾方向に印字面の裏側に複数ヶ所、少なくとも領収書明細の印字面の裏側の上下の中央に数ミリ巾の糊付部と印字面の天地にミシン目等の切断部をつくる。

【0007】

割引券の裏側に、切断面側から数ミリ巾の糊付部と糊付部の後の非糊付部にミシン目等の切断部をつくり、市販カレンダーおよび宣伝広告主によって制作されたオリジナルカレンダーに貼り付けて売出日の確認が可能な状態にしておく。

30

【0008】

デジタル環境下においては、レシートの情報コードに工夫をつくる。領収書としてのレシートは、そのデータをパソコン等の記憶装置内の家計簿フォーマットに日付、店名、項目、商品名、価格、割引率等を自動的に落とし込むことを目的にするため、領収書データをバーコードやQRコード等で表現し、それをリーダーで読み取る。

【0009】

割引券のデータをバーコードやQRコード等で表現し、それをリーダーで読み取り、パソコン等の記憶装置内のカレンダーフォーマットに落とし込む。

40

【0010】

携帯電話等の端末機器のバーコードやQRコード等の読み取り機能を利用し、読み取ったデータを自動転送し、パソコン等の記憶装置内の家計簿およびカレンダーフォーマットに落とし込むことができる。つまり、携帯電話等の端末機器に特定のメールアドレスへの自動転送機能を付加して設定しておき、記憶装置内では家計簿および割引券のデータに関するメールであると認識してそれぞれのフォーマットに落とし込まれていくこととなる。

【発明を実施するための最良の形態】**【0011】**

割引券が、有効期限である売出日を過ぎてしまう、折角集めていたにも関わらず紛失してしまう等の障害が多い。それを防止するために、割引券の裏側に、切断面側から数ミリ巾

50

の糊付部と糊付部の後の非糊付部のできるだけ糊付部に接近した位置に切り取り用のミシン目等の切断部をつくる。糊付部はレジスターで割引券を印字する際に糊を印刷して付着させるものである。また、次のレシートのスムーズな印字と出力をおこなうために、切断面と糊付部の間に数ミリの逃げとしての非糊付部をつくる。割引券を貼り付けて、再度切り離しやすいうように糊付部と切断部との間に数ミリの逃げとしての非糊付部をつくる。

【0012】

割引券は、分かりやすく、紛失しないようにカレンダーに貼り付ける。通常有効期限である売出日の近辺に貼り付け、使用する際は、切断部を切り離す。スーパーマーケット、百貨店、コンビニ等の売り手サイドでこのような利用方法を前提としたオリジナルカレンダーを消費者に予め提供し、カレンダーの日付枠の中に貼り付けられる仕様にする。割引券の標記は、オリジナルカレンダーの日付の文字の級数と体裁を合わせるようにする。

10

【0013】

割引券は、さらに消費者にメリットを与えるという意味で将来の安売りチラシのディスカウント価格から割引する手法にも有効である。

【0014】

割引券をデジタル上で管理しようとする場合、割引券のある部分に情報コードであるバーコード、QRコード等を印字し、それをリーダで読み取ることによってその売出日、商品名、価格、割引率等をパソコン等の記憶装置用のカレンダーに自動的に落とし込むようにする。

【0015】

携帯電話等の端末機器の読み取り機能を利用し、読み取ったデータは自動的に予め特定してあるメールアドレスのパソコン等の記憶装置に自動的に転送され、カレンダーに落とし込まれるように設定しておく。

20

【0016】

家計簿に領収書をもとに、手書きで転記し、または、領収書自体を貼り付けることがある。後者を想定し、領収書の裏面に複数ヶ所、巾方向に数ミリ巾の糊付部をつくるものである。少なくとも領収書明細の日付、販売者、購入商品、価格、合計金額のみが印字された印字面の裏側の上下の中央に数ミリ巾の糊付部をつくる。家計簿に添付するスペースを考慮し、不要部分を切り取るために印字面の天地にミシン目を入れる。糊付部はレジスターで領収書を印字する際に糊を上記仕様で印刷して付着させるものである

【0017】

家計簿をデジタル上で管理しようとする場合、領収書のある部分に情報コードであるバーコード、QRコード等を印字し、それをリーダで読み取ることによってパソコン等の記憶装置内の家計簿フォーマットに日付、販売者、項目、商品名、価格、割引率等を自動的に落とし込むことができる。領収書が複数枚分入力された時は、自動集計し、同じ商品であれば、週間、月間、年間等の最低価格、最高価格を表示することもできる。表示方法は、別表でグラフによる表現も可能でその価格推移を表現することもできる。

30

【0018】

携帯電話等の端末機器の読み取り機能を利用し、読み取ったデータは自動的に予め特定してあるメールアドレスのパソコン等の記憶装置に自動的に転送され、家計簿に落とし込まれるように設定しておく。

40

【実施例1】

【0019】

図1は、割引券の構造と表裏の絵柄の一例。

【実施例2】

【0020】

図2は、割引券をオリジナルカレンダーに貼り付けている状態。

【実施例3】

【0021】

図3は、領収書の表裏の構造。

【産業上の利用可能性】

50

【0022】

消費者は、スーパーマーケット、百貨店、コンビニ等のレジで領収書、割引券をレシートで受け取り、家計簿の作成および次回購入する時のディスカウントを約束される割引券を保管し、タイムリーに使用しようとする。しかし、レシートがそれを想定した構造になっていないため、消費者が有効利用するのに障害が多々あった。この障害を消費者サイドに立ち、かつ、使いやい構造にし、レシートの持つ本来のメリットを享受させようとするものである。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図1】割引券の表裏の正面図(実施例1)

10

【図2】割引券をオリジナルカレンダーに添付し、切り取った正面図(実施例2)

【図3】領収書の表裏の正面図(実施例3)

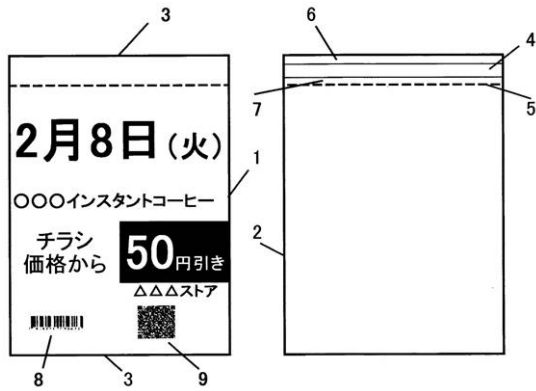
【符号の説明】

【0024】

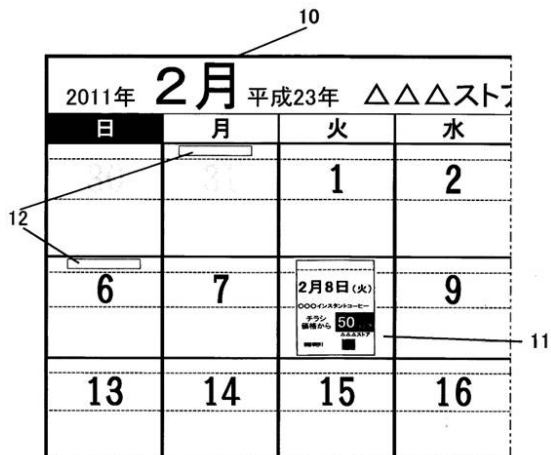
1.
割引券の表
2.
割引券の裏
3.
切断面
4.
糊付部
5.
切断部(ミシン目)
6.
切断面からの逃げの非糊付部
7.
切断部(ミシン目)からの逃げの非糊付部
8.
バーコード
9.
QRコード
10. オリジナルカレンダー
11. オリジナルカレンダーに添付された割引券
12. 割引券を切り取った後の糊付部
13. 領収書明細の印字面
14. 領収書の表
15. 領収書の裏
16. バーコード
17. QRコード

40

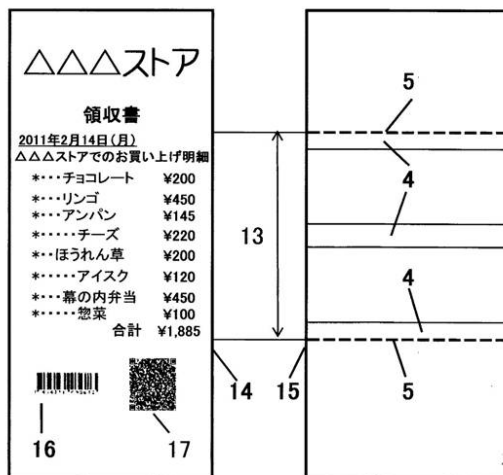
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2002-032861 (JP, A)
特開2005-293023 (JP, A)
特開2004-017348 (JP, A)
特開2009-199014 (JP, A)
特開2004-318412 (JP, A)
特開2005-115439 (JP, A)
特開平09-326083 (JP, A)
特開平08-161635 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B42D 11/00